

科目名	臨床心理学						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照				
開講期	春／秋	開講学部等	共通教育科目	配当年次	1 年次	単位数	2 単位
教員名	角田 豊						

授業概要／Course outline

臨床心理学とは、カウンセリングや心理療法といったセラピー、また心理テストを用いたアセスメントを通して、心の問題や悩みに対する「理解」と「治療」を実践する心理学のひとつの領域である。この授業では、臨床心理学の基本的な考え方を紹介しつつ、カウンセリングのポイント、自己表現や遊びの意義、自己理解と他者理解、意識と無意識などについて取り上げていく。授業では、カウンセリングのロールプレイやグループワークを多く取り入れていくので、学生同士のコミュニケーションの機会があることを理解した上で、主体的に受講してほしい。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・アクティブ・ラーニング授業（形態：グループワーク／ロールプレイ）

学生同士がペアになってカウンセリングのロールプレイを多く行う。

- ・実務経験のある教員による授業

公認心理師・臨床心理士である教員が、カウンセリング（心理療法）・心理アセスメントの経験を生かして、臨床心理学の基本的な考え方と臨牀的なかわりのあり方について講義する。

授業内容・授業計画／Course description・plan

1. オリエンテーション

臨床心理学を学ぶ意義について、また、この授業の概要について説明する。

2. ストレスとは

様々なストレスと心の問題の関連について考える。

3. 宗教と臨床心理学（グループワーク）

臨床心理学の歴史的背景について、宗教との関連から考える。

4. カウンセリング（ロールプレイ）

カウンセリングや心理療法とはどのような関わりであるのかを考える。

5. （オンデマンド授業）

箱庭療法：非言語的な表現から心の理解をどのように進めるかを考える。

○解説動画視聴（30分間）・教科書確認（10分間）・箱庭作品の検討（20分間）・「今日のテスト」作成（30分間）

○動画視聴可能期間5月3日（土）～7月11日（金）

○今回の「今日のテスト」提出はmoodleの第5回の課題欄に添付すること・締め切り7月18日（金）

6. ロジャースの考え方（ロールプレイ）

現代のカウンセリングの基礎を生み出したロジャースの理論をもとにカウンセリングについて考える。

7. 心理アセスメント1 概説

心理テストの役割について考え、その種類について説明する。

8. 遊びと創造性（ロールプレイ）

心理療法や人が生きる上で「遊び」が持つ意味を創造性との関連から考える。

9. 心の成長・発達（ロールプレイ）

発達の視点から、心の変化・成長について考える。

10. 心理アセスメント2 質問紙

心理アセスメントから質問紙法を取り上げ、自己理解の意義について考える。

11. 意識と無意識（ロールプレイ）

心のモデルのひとつである「意識－無意識」にどのような意味があるかを考える。

12. 心の防衛（ロールプレイ）

無意識に行われる心の防衛機制の多様性と意味について考える。

13. 心理アセスメント3 描画テスト

心理アセスメントの多様性から描画テストを取りあげ、その特性について考える。

14. 精神分析の考え方（ロールプレイ）

フロイトの理論をもとに精神分析療法について考える。

15. 自己愛と自己心理学（ロールプレイ）

自分と他者の関係について、コフォートの自己心理学の視点から考える。

事前・事後学修／Preparation and assignments

事前学修としては、教科書と参考書を通読しておくことが望ましい。事後学修としては、授業で用いたスライドをmoodle上にアップするので、適宜利用してほしい。（事前学習に1時間・事後学習に2時間ほどかけることが望ましい）

1. オリエンテーション

事前学習：教科書p. 2, 6, 7, 8を読んでくること。事後学習：#1のmoodleを参照し課題についてさらに自分で調べる。

2. ストレスとは

事前学習：教科書p. 28, 29を読んでくること。事後学習：#2のmoodleを参照し課題についてさらに自分で調べる。

3. 宗教と臨床心理学

事前学習：教科書p. 14, 15を読んでくること。事後学習：#3のmoodleを参照し課題についてさらに自分で調べる。

4. カウンセリング

事前学習：教科書p. 58, 59を読んでくること。事後学習：#4のmoodleを参照し課題についてさらに自分で調べる。

5. オンデマンド授業 箱庭療法

事前学習：教科書p. 84-87を読んでおくこと。事後学習：解説動画を参照し課題についてさらに自分で調べる。

6. ロジャースの考え方

事前学習：教科書p. 70, 71, 62を読んでくること。事後学習：#5のmoodleを参照し課題についてさらに自分で調べる。

7. 心理アセスメント 1

事前学習：教科書p. 38, 39, 52, 194-197を読んでくること。事後学習：#6のmoodleを参照し課題についてさらに自分で調べる。

8. 遊びと創造性

事前学習：教科書p. 88-91を読んでくること。事後学習：#8のmoodleを参照し課題についてさらに自分で調べる。

9. 心の成長・発達

事前学習：教科書p. 34, 35を読んでくること。事後学習：#9のmoodleを参照し課題についてさらに自分で調べる。

10. 心理アセスメント 2

事前学習：教科書p. 44, 45, 118を読んでくること。事後学習：#10のmoodleを参照し課題についてさらに自分で調べる。

11. 意識と無意識

事前学習：教科書p. 80-83を読んでくること。事後学習：#11のmoodleを参照し課題についてさらに自分で調べる。

12. 心の防衛

事前学習：教科書p. 32, 33を読んでくること。事後学習：#12のmoodleを参照し課題についてさらに自分で調べる。

13. 心理アセスメント 3

事前学習：教科書p. 46, 47を読んでくること。事後学習：#13のmoodleを参照し課題についてさらに自分で調べる。

14. 精神分析の考え方

事前学習：教科書p. 66-69を読んでくること。事後学習：#14のmoodleを参照し課題についてさらに自分で調べる。

15. 自己愛と自己心理学

事前学習：教科書p. 204, 205を読んでくること。事後学習：#15のmoodleを参照し課題についてさらに自分で調べる。

授業の到達目標／Expected outcome

臨床心理学の基本的な知識を習得できるようになること。

ロールプレイなどの自己体験をもとにしながら、自己理解力と他者理解力の基盤を身につけ、発達の・多面的に心の理解を深める素養を習得できるようになること。

対人場面において、他者と自分の関係性を把握し、相手の話を聴く力（傾聴力）と相手に役立つ応答力ならびに自分の思いを適切に伝える（伝達力）といったコミュニケーション能力を向上させられるようになること。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・ 思考力
- ・ 幅広い教養

履修上の注意／Special notes, cautions

自分で考える・対話する授業になるよう主体的に参加してほしい。

授業開始時間に遅れないこと。

私語やスマートフォン・携帯電話の使用をはじめ、他の受講生に迷惑となる行為は「授業への積極性」についてのマイナス評価の対象とする。

評価方法／Evaluation

毎回のテスト(80%)ならびに授業への積極性(20%)から評価する。

教 材／Text and materials

- ・教科書：青木紀久代編著『徹底図解 臨床心理学』（新星出版：2013）

質問や相談の方法／Instructor contact

授業終了時またはmoodleに記載するメールアドレスにて質問や相談を受け付ける。

その他／Others

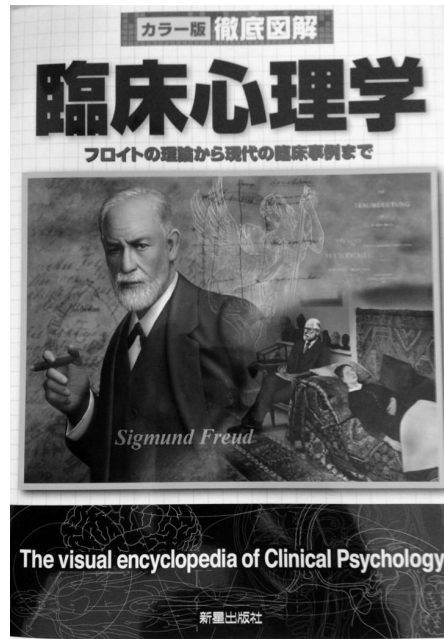


図 1